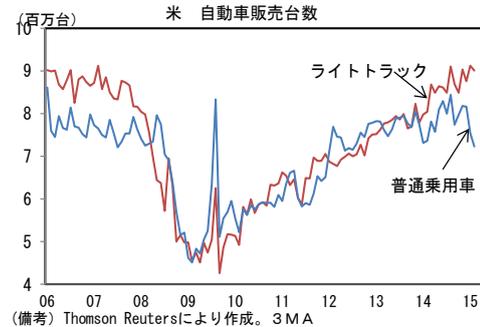
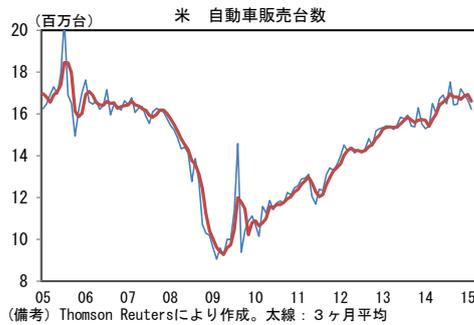


### 【海外経済指標他】～米自動車販売：ライトトラックが好調～

- ・ 2月米自動車販売台数は1623万台と市場予想（1660万台）を下回ったが、2月は天候要因が足枷になった可能性が指摘されており、ポテンシャルから下振れている模様。3ヶ月平均でも頭打ちとなったが、そうしたなかでも、ライトトラック販売が好調を維持していることは注目される。消費者が選択的支出に前向きであることを裏付けておりポジティブな印象だ。そもそも、原油価格下落、低位安定を保つオートローン金利などの追い風を考慮すれば、消費者が自動車購入を躊躇う合理的な理由に乏しい。ここもとの販売鈍化をさほど懸念する必要はないだろう。



- ・ 1月ユーロ圏PPIは前月比▲0.9%、前年比▲3.4%と予想よりも弱かった。もっとも、既発表の2月ユーロ圏CPIは既に反転の兆しをみせており、PPIも2月に追従する可能性が濃厚。2月データ発表時にユーロ圏インフレ率の底打ちが確認されるだろう。
- ・ 1月独小売売上高は前月比+2.9%と予想（+0.4%）を大幅に上回った。最近の消費者信頼感の改善と総合的で原油安メリットを再認識させる内容だ。
- ・ 昨日RBA理事会は政策金利を2.25%で据え置いた。事前の予想では①中国の利下げ、②4Q民間設備投資の弱さ、③2会合連続利下げという過去の慣習を踏まえ、25bpの利下げを見込む予想機関も多かったが、RBAは予想外にハト派バイアスを弱めた。声明分では景気判断をやや上方修正すると同時に資産価格上昇について言及。AUD高への不満、デysinフレ懸念はなお残存するものの、これまでの“緩和バイアス一辺倒”にやや距離を置いた格好だ。今後、資源価格が上昇すれば政策金利を据え置き、反対に資源価格が下落すれば利下げで対応といった具合に、金融政策に幅を持たせる狙いがあったとみられる。

### 【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】～米国株：最高値から反落～

- ・ 前日の欧米株は下落。米国株は一昨日に最高値を更新した後とあって、利益確定売り優勢。
- ・ 前日のG10通貨はAUDの強さが目立った一方、JPY、EUR、GBPは小動き。USD/JPYは日本時間早朝に120前半まで上伸した後、特段の材料が無いなかで119半ばまで下落。EUR/USDは5日のECB理事会を控えて小動き。4日日本時間も新規の材料に乏しくUSD/JPY、EUR/USDともに小動き（13：30）。
- ・ 米10年金利は+3.7bpの2.119%。RBAの利下げ見送りと円債・ギルト債の軟調な入札を受けて金利上昇。

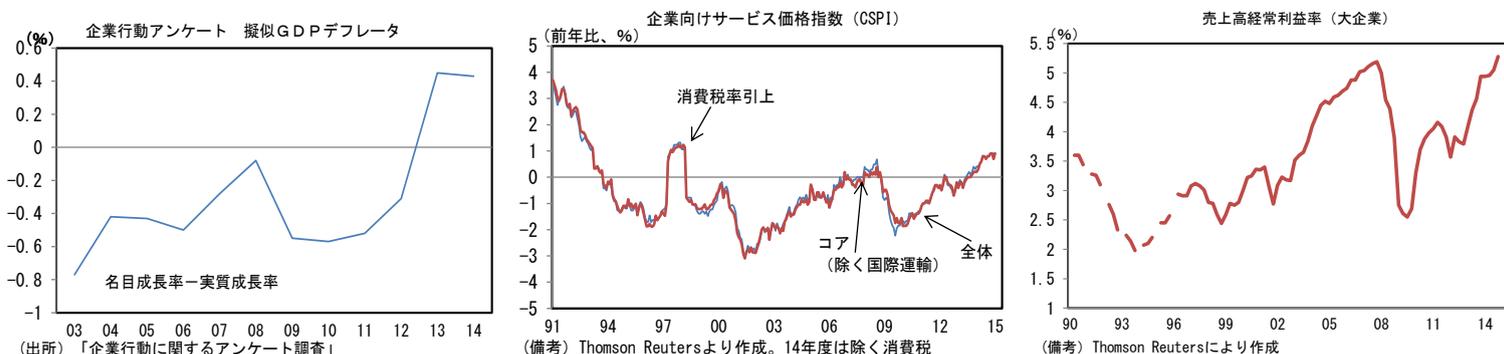
同様の理由で欧州債も軟調。ただし、GIPS債の対独スプレッドは僅かなワイドニングに留まった。

**【国内株式市場・経済指標他】～豪GDP：概ね予想通り～**

- ・日本株は高値警戒感が煽るなか、売り優勢。ただし、前場につけた安値からは切り返している（13：30）。
- ・豪GDP（4Q）は前期比+0.5%、前年比+2.5%と概ね市場予想に一致。在庫寄与度（前期比▲0.6%）が下押しした一方、個人消費（+0.9%）が加速。最終需要は+0.8%（年率+3.2%）に加速した。

**【注目点】～擬似GDPデフレータがプラス～**

・内閣府が発表した「企業行動に関するアンケート調査」によると、企業が予想する2015年度のGDP成長率は名目が+1.7%、実質が+1.3%となり、2年連続で名実逆転が解消された。ただ、昨年度は消費増税の影響により名目値が嵩上げされていた（可能性が濃厚な）ため、昨年度調査を除くと今回調査が初の正常化（名>実）となる。名目成長率と実質成長率の差を擬似GDPデフレータと定義すれば、今年度のそれは+0.4%とアベノミクス開始以前（平成23年度調査）の▲0.5%から0.9%ptも改善している。本調査を日銀が重視するかは別としても、企業の期待インフレ率が上向いている可能性は高そうだ。そうしたなか、企業の価格設定行動の変化が注目されるが、既に企業向けサービス価格指数はアベノミクス開始以降に顕著な変化が認められており、企業行動の変化を裏付けている。企業の価格決定力は少なくともBtoBにおいて回復しているように見受けられ、これは売上高経常利益率が既往最高を更新していることの一因になっていると考えられる。デフレ脱却とそれを見込んだ株高の背景にあるストーリーは順調に進捗している。



**<主要株価指数>**

	終値	前日比
日経平均※	18717.78	-97.38
N Y ダウ	18,203.37	-85.26
D A X (独)	11,280.36	-130.00
FTSE100 (英)	6,889.13	-51.51
CAC40 (仏)	4,869.25	-48.07

**<外国為替>※**

USD/JPY	119.75	0.02
EUR/USD	1.1168	-0.00

**<長期金利>※**

日本	0.412 %	0.036 %
米国	2.119 %	0.037 %
英国	1.843 %	0.056 %
ドイツ	0.362 %	0.006 %
フランス	0.668 %	0.030 %
イタリア	1.401 %	0.052 %
スペイン	1.390 %	0.041 %

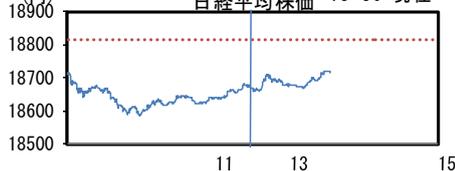
**<商品>**

N Y 原油	50.52 <sup>ドル</sup>	0.93 <sup>ドル</sup>
N Y 金	1204.40 <sup>ドル</sup>	-3.80 <sup>ドル</sup>

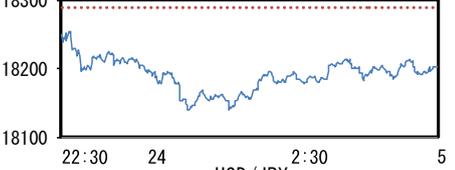
※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg

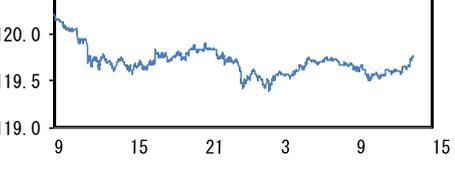
**日経平均株価 13:30 現在**



**N Y ダウ平均株価**



**USD/JPY**



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。